応募地方公共団体で開催　まちゴト脱炭素ラボ

まちゴト脱炭素デザイン会議

ワークショップの開催支援を希望する地方公共団体募集!



部局の壁を越え、「ありたいまちの姿」を脱炭素で実現する。

まちゴト脱炭素デザイン会議は、脱炭素をまちを元気にする手段と捉え、
「地域のありたい姿」を描き、実現に向けたアイデアを創出します。

こんな悩み、ありませんか?

- 脱炭素を進めたいが、「環境部局だけの取組」になりがちで庁内に広がらない
- それぞれの日々の業務で手一杯、他部局に自部局の課題を伝えられていない
- 部局間の課題がつながっておらず、効果的に住民や民間企業を巻き込む事業検討が進まない



本ワークショップの特徴

対話手法
「Future Session」で、共に描く

- 立場のちがう参加者と新たな関係性を築き、課題や制約からではなく、「ありたい未来」を描く
- 一人・一部署だけでは生まれない発想と、自分ごとで「やってみたい」と思えるテーマに出会う
- 対話により納得感を持って実践に移せる

事前ヒアリングを行い、企画・設計・進行・事後フォローまで事務局が伴走。
地域の「ありたい姿」を実現する、庁内をはじめ、住民・官民連携の取組をともに検討。

ワークショップで取り組む3つのPhase

（約3～4時間）

Phase 1	まちの姿を深掘る	各部署で抱える課題を持ち寄り、少人数の車座対話を通じて、お互いの本音を知り新しい視点で捉え直します。
Phase2	まちゴトの問いを立てる	Phase1で深堀りをしたまちの姿に対して、「脱炭素×〇〇」の掛け合わせで、自部署で本当に取り組みたい問いを選びます。
Phase 3	アイデアを試作する	問いに対する解決策のアイデア出しと、実現に必要な「連携パートナー」の方向性をシートに落とし込みます。
NEXT	整理した内容をもとにマッチングイベントへ	連携パートナーを見つけるために、マッチングイベントへ参加をします。

募集概要

日時　2026年12月中旬～1月下旬
※開催日時は実施団体決定後、調整のうえ決定。開催時間は3～4時間程度を想定

場所　対象の地方公共団体内の会議室・スペースを想定

対象　庁内連携・官民連携で地域脱炭素に取り組む意向がある地方公共団体
※実施団体は選定のうえ決定となります。

締切　2026年12月4日（金）18:00
右のQRコードから申し込み
※アクセス等できない場合は事務局にお問い合わせください。

お申し込みはこちら

まちゴト脱炭素ラボの流れ

※すべてのイベントの参加は必須ではありませんが、
Step2ワークショップを実施する地方公共団体は、Step３マッチングイベントへ原則参加頂きます。

1 STEP　セミナー
11月24日（火）
まちゴト脱炭素サミット

▶

2 STEP　ワークショップ
12月中旬～1月下旬
まちゴト脱炭素デザイン会議

▶

3 STEP　マッチングイベント
1月下旬～2月上旬
まちゴト脱炭素ミーティング

環境省
主催：環境省関東環境局　　運営事務局：まちゴト脱炭素事務局
問い合わせ：まちゴト脱炭素事務局　machigoto@contact.artiql.jp

まちゴト脱炭素ラボ